

令和3年第1回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和3年1月20日（水）午後2時開会

2 場 所 天草市役所 庁議室

3 本会議に出席した教育委員等

| | | | |
|-----|---------|-------|---------|
| 委 員 | 黒 鶴 進 治 | 委 員 | 行 合 八恵子 |
| 委 員 | 木 下 えり子 | 委 員 | 吉 森 啓 司 |
| 委 員 | 岩 崎 あゆみ | 教 育 長 | 石 井 二三男 |

4 本会議に出席した事務局職員

| | | | |
|------------|---------|-------------|---------|
| 教 育 部 長 | 長 元 忠 | 教育総務課長 | 柴 田 和 人 |
| 学校教育課長 | 本 多 俊 隆 | 学校給食課長 | 堀 口 広 正 |
| 生涯学習課長 | 岡 田 恵 | 学校教育課審議員 | 河 内 秀 幸 |
| 学校教育課課長補佐 | 酒 井 成 寿 | 学校給食課管理係長 | 渡 邊 英 治 |
| 学校教育課教務1係長 | 濱 中 光 徳 | 教育総務課総務企画係長 | 谷 口 哲 也 |

5 本会議に付した議題等

(1) 議題

議第1号 天草市教育振興基本計画の改定について

(教育総務課)

(2) 協議・報告

- (1) 令和3年度天草市立幼稚園園児募集結果について
- (2) 令和2年第7回市議会定例会一般質問の概要について
- (3) 令和3年2月行事予定について

6 会議の概要

(1) 開会

石井教育長： ただ今から、令和3年第1回天草市教育委員会定例会を開会する。傍聴人がないことを確認する。

(2) 前回までの会議録の承認

石井教育長： 前回の会議録であるが、何か意見はないか。

木下委員： 前回の教育長報告にて、公開授業を開催した学校を本渡東中学校、稜南中学校として記載されているが、稜南中学校、本渡南小学校、本渡中学校へ訂正をお願いする。

石井教育長： ほかに意見等ないか。なければ、指摘箇所の訂正後、承認してよろしいか。

(全員承認する)

(3) 教育長報告

石井教育長： 今回は本年第1回目の定例会であるので、新年の挨拶を行いたいところではあるが、市長の急逝を受け、軽いあいさつで済ませることをご容赦願う。少し経過を触れさせて頂くと、私が副市長から連絡を受けたのが12月30日17時頃、その後すぐに地域医療センターへ出向いた。19時30分頃に、院長と心臓関係専門医から市長のご家族へ説明

があり、ICUへ向かわれた。人工心臓を装着されるという事だったので、一旦帰路についたが、まさか翌日早朝に亡くられるなど想像だにしていなかった。すぐにいろいろな対応を始め、1月2日の葬儀は家族葬ではあったが、市長がこれまで築かれたものの大きさを実感するとともに、副市長と空虚さを感じる思いを共有したところである。仕事始めの訓示で、副市長より、「市長がいなくなった後の天草市はなんだとお叱りを受けないよう、職員一丸となり何事にも取り組んでいこう」との言葉を頂いた。中村市長には、学校関係を含め教育には大変ご尽力頂いていたので、皆様方と一緒にご冥福をお祈りしたいと思う。

次に学校関係について報告する。7日より新学期が開始されたが、翌8日、大雪のため、牛深小中学校、牛深東小中学校、河浦小中学校では休校、稜南中学校、亀川小学校、天草小中学校では給食後帰宅の措置を取った。その後も9日、10日と降雪はあったが、土日であったため休校措置をとらずに済み安堵した。

最後に、13日には、天草市では初めてとなる中学生のコロナウイルス感染例が発生したが、学校、保健所、地域振興局との協力により、当日のうちに消毒の手配などの対応を開始でき、14日には感染者と同じクラス及びスクールバス同乗者等のコロナ検査を実施した。その結果、生徒1名から陽性反応が出たため、再度、消毒等の対応をした。学校は14日、15日を休校措置とし、18日より通常通りとしたが、これまで無事に再開できている。今後、同様の事がなければとは思いますが、いつ発生するか分からないというのが現状だと思う。

(4) 議題

議第1号 天草市教育振興基本計画の改定について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 本案は、第2次天草市教育振興基本計画を改定するにあたり、教育委員会の承認を得る必要があるため提出するものである。配付した第2次天草市教育振興基本計画改定版をご覧ください。

計画の改定にあたっては、第11回教育委員会定例会にて天草市教育振興審議会に対する本計画の見直しに係る諮問について議決頂き、これを受け、天草市教育振興審議会を8月と10月の2回開催し改定版素案を作成。10月15日には教育委員会へ答申頂き、10月21日開催の第15回教育委員会定例会にて議第48号として提案させて頂いた。その際、教育委員からのご意見・ご指摘により修正を行い、改定版素案として決定。その改定版素案を11月25日から12月25日までの1か月間、市のホームページにてパブリックコメントを行ったが、期間中、市民からの意見等はなかった。パブリックコメントで意見等がなかった旨を審議会に報告を行い、本計画改定版として確定した。以上のとおり、計画改定に向けた手続き等が終了したため、本日、議案として提案するものであり、承認頂くと、すみやかに公表の手続きをとらせて頂く。

なお、公表については市のホームページにて行い、市議会議員には議会事務局を通じ報告し、学校その他の関係機関に対しても同様に公表していく運びとなる。以上で説明を終わる。

石井教育長： 事務局より説明があった。何か質問等はないか。

木下委員： 13ページにある英語指導補助教員による指導の様子の写真であるが、対象者として写っている先生は補助教員でなく、本渡南小学校の英語科の講師として教鞭を取っておられるので、写真の刷新をお願いします。

本多学校教育課長： 指摘頂いた写真は、刷新させて頂く。

柴田教育総務課長： もし適当な写真がない場合には、説明文を適切なものへ変更させて頂く。

行合委員： 計画見直しで削除した政策及び施策名について、政策「幼児期の教育の充実」が削除され、天草市子ども・子育て支援計画へ掲載されたとあるが、どういう意味か。

柴田教育総務課長： 政策「幼児期の教育の充実」については、同様の施策を含む計画が、子育て支援課所管の天草市子ども・子育て支援計画に既に記載されており、計画のトータルシステム化により、重複している計画については削除するという趣旨から、本計画より削除している。

行合委員： では今後、教育委員会では幼児教育について検討しないという事になるのか。

柴田教育総務課長： 事業、施策によっては連携する事もあるが、政策自体は現計画から削除させて頂いた。

行合委員： 幼児期教育については、今後、子育て支援課が主体となって動いていくという事か。

柴田教育総務課長： 政策を推進していく際、関係部署という事で施策ごとに連携していく事はあり得る。

行合委員： 幼児教育は人格形成等とても大切な事で、学力、知能などは乳幼児期から積み重ね、形成されていくわけだが、現在、保育園、保育所では家庭教育学級が行われていないと聞く。今後、乳幼児期の教育の充実を子育て支援課がどのように取り計らい、進めて行くかが把握できないので危惧し、質問した。今、子どもたちの学力は先生方の尽力もあり、大変伸びて、良い状況だと思うので、これからも幼児期の教育、基礎作りがきちんと行われる事を願う。

本多学校教育課長： 現行の計画から政策「幼児期の教育の充実」を削除したが、政策「学校教育の充実」を見直した際に、「就学前教育の充実」という施策は残している。

天草市子ども・子育て支援計画は子育てに重点を置いたもので、教育については、引き続き教育委員会として関わっていく。計画自体では縦割りに見えるが、天草市子ども・子育て支援計画では、家庭教育支援事業については生涯学習課が、また本計画についても施策によっては市全体の各種関係機関が関わりあって進めていく事をご理解頂ければと思う。

石井教育長： 私も、幼稚園は学校教育課で所管するが、保育所関係はどこが指導するのか疑問に思ったことがある。それを抜きにしても、学校教育の充実の施策展開として、就学前教育にはしっかりと取り組んでいかなければならないと考えている。

行合委員： 現在、教育委員会で幼稚園訪問を行っているが大変意義ある事だと思う。訪問する事で、こちらとしてはどのような教育が行われているのか把握できるし、先生方も見られることにより研鑽が重ねられると思う。しかし、保育所についてはそういう事が行われているのか不明であるし、幼稚園と保育所では、内容、時間の使い方などに差異があるので、もっと連携できないものかと思う。

木下委員： 以前、県の地域振興局福祉課にいた際、そこでは各保育園への訪問・指導を行っていたので、保育園と幼稚園では、先生方の研修のあり方や保護者への指導に違いがある事は分かってはいたが、本日、亀場幼稚園へ訪問した際、改めて実感させられた。

本多学校教育課長： 幼稚園教諭の資格を持つ3名の職員に保育所から幼稚園へ移って頂いたが、幼稚園と保育所の違いに戸惑う部分があったと伺っている。保育園との連携は、引き続き子育て支援課と連携して進めていきたい。

行合委員： 先進県では幼稚園同様に保育園訪問も行われている。子育て支援課とも連携し、指導内容の統一化など進めて頂きたい。

石井教育長： 私が県庁にいた際、保育園を管轄している私学文書課、生涯学習を管轄している社会教育課、幼稚園を管轄している義務教育課の共同で、就学前教育振興プランの作成に携わった。その際、縦割り行政による弊害を実感した。保育園は厚労省から、幼稚園は文科省から補助が出されているが、その壁を崩してプランを作成するのは大変な労力であった。私学文書課は知事部局直轄、私は教育委員会でしたので教育長の管轄、生涯学習も教育委員会の管轄でしたが、当時の課長は国から派遣されておられたので、なかなか折り合いが付かず、しかし、小学校、義務教育へ入る際は全部同じなんだという事で、大変な思いをしながらプランを作成した覚えがある。そのプランを作成した理由は、当時、小学校の入学式で式が成り立たなくなってしまう事があり、就学前教育をみんなで見守っていこうという思いで動いたことを覚えている。

本市でも縦割りによる弊害を感じていたが、現在行っている預かり保育だけでも、やっとここまで来たなという思いである。保育園についても、私の子どもが通っていた際には、かなり尽力頂いたことを知っている。むしろ、幼稚園の先生たちは、なぜ毎日毎日、一人の子どもに対し、膨大な資料を作成するのだろうか、働き方改革から外れていないかとの思いもある。改善策も一朝一夕に結論に至ることは困難な面がある。

黒 鶴 委 員： 私も以前から、縦割り行政による弊害があると感じていたし、教育長が話されたように改善には難しい面もあると思うが、これまでも話し合われてきたが抜本的な改善にはつながっていない。ただ、今回の話し合い、各意見には期待を感じたので、より良いものになる事を期待している。

石井教育長： 平成13年に、熊本県は、先駆けて、幼児教育の改善・改革を目的とする幼児教育班を設置して取組を始めた。しかし、保育園への指導については壁があり、審議会等の中で共通理解を持つ事はできて、なかなか上手くいかなかった面があった。

また、本市では、スポーツや文化についても、教育委員会ではなく市長直轄で振興に力を入れているが、まだまだ市民の方から理解頂けていないところもあるので、さらに周知が必要だと思う。

吉 森 委 員： 倉岳町では、先生方の尽力で、幼稚園、保育園としての特色はありつつも、教育レベルとしては近いものになってきたので、保護者の方も選びやすい環境になった。先ほどから言われているように、幼稚園、保育園、それぞれで自己研鑽や研修会をとおして先生方が成長していく事が、子どもたちのためになるので、これからも高め合えるような環境づくりをお願いしたい。

石井教育長： ほかにご意見等ないか。なければ議第1号について承認してよろしいか。

(全員承認する)

(5) 協議・報告

(1) 令和3年度天草市立幼稚園園児募集結果について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

本多学校教育課長： 期間を令和2年12月1日から3年1月12日までとし募集をした結果、3歳児で本渡南幼稚園へ5人、本渡北幼稚園へ12人、亀場幼稚園へ7人の新規応募があったことを報告する。後日、これをもとに令和3年度の学級編制を行い改めて報告する。なお、本年度は亀場幼稚園の4歳児、5歳児クラスを複式クラスとして編制している。

石井教育長： 事務局より説明があった。何か質問等はないか。なければ、次へ。

(2) 令和2年第7回市議会定例会一般質問の概要について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 令和2年第7回市議会定例会は11月30日に開会し、12月14日・15日の2日にわたり7名の議員から一般質問が行われ、教育委員会関係では赤木議員及び蓮池議員から質問を頂いた。内容としては、赤木議員からは子宮頸がん予防ワクチン接種とがん対策についてという事で、がん教育について。蓮池議員からは、農業センサス2020年を終えてという事で、学校給食の食材調達に関するものであった。質問及び答弁の内容については、資料をご覧頂きたい。

石井教育長： 事務局より説明があった。何か質問等はないか。

木 下 委 員： 赤木議員の質問に対する答弁に、「平成29年度からは、中学3年生を対象に胃がんの発症と関係があるといわれているピロリ菌検査を実施している。本年度は11月末までに532人(78%)が検査を受けている」とある。検査の方法について教えて頂きたい。

長 元 部 長： 検査は任意で実施されており、受験者は増えているものの、保護者の同意が得られた者が全体の78%となっている。方法としては、健康診断時の尿検査をピロリ菌検査にも使用するという方法で行われている。

石井教育長： ほかに質問等ないか、なければ次へ。

(3) 令和3年1月行事予定について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 2月19日(金)14時から教育委員会定例会を予定するので、日程調整をお願いします。24日(水)に教職員退職者感謝状贈呈式をポルトにて開催を予定している。2月の行事予定は以上となる。

(6) その他

石井教育長： 教育委員又は事務局から何かないか。

本多学校教育課長： 先ほどの24日の教職員退職者感謝状贈呈式に追加し、学校関連の行事予定を報告させて頂く。卒業、卒園式については、3月14日(日)に中学校卒業式、19日(金)に幼稚園卒園式、24日(水)に小学校卒業式を予定している。入学、入園式については、4月9日(金)の午前に小学校入学式、午後中学校入学式、12日(月)に幼稚園入園式を予定している。

なお、それぞれの式典については、大きく状況が変わらない限り、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度と同じく来賓者なしでの執り行いを予定している。

次に、幼稚園での預かり保育について報告させて頂く。本来であれば、子育て支援の一環として本年度から施行を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策により、実施できなかった。協議検討を重ね、本年1月と2月に、感染症対策を取りつつ、時間を14時から15時までの1時間にした上で、希望者を対象に本格試行開始前の試行準備という位置付けで行っている。今回は、園の対応、職員の配置や利用者のニーズを把握するためにやっているが、現時点では、入園者の半数以上の方が利用を希望されている状況と報告があるので、これを踏まえつつ、今後の取組みにつなげていきたいと考えている。

石井教育長： 事務局より説明があった。何か質問等はないか。

岩崎委員： 現時点では1時間との事だが、本格開始した後の時間や長期休暇中はどうなる予定か。

本多学校教育課長： 今のところ、幼稚園終了の14時から2時間程度と考えているが、長期休暇中の実施計画を含め、現在の試行やこれからの実施状況から検討させて頂く。

石井教育長： ほかに事務局から何かないか。

岡田生涯学習課長： 机上に、「令和2年度生涯学習フェスティバル in パレア」オンライン動画配信のチラシを配布している。これは、本年1月23日から来年3月31日までの期間中、どなたでも申し込み可能で、県内各地で行われる生涯学習の配信動画を閲覧することができるという事で紹介させて頂いた。また、本市の生涯学習講座についてもオンラインを導入し、学習の場を市民の皆様にご提供できる環境を整えていきたいと考えている。

次に施設の利用時間変更について、熊本県独自の緊急事態宣言発令に伴い、宣言期間の2月7日まで、複合施設こころすの開館時間を20時までとし、中央図書館を17時までとしているが、1階のフリースペースなどは、アクリル板を置くなど開館中は感染対策を取り自由に使えるようになっている。

最後に成人式は中止としたが、副市長・議長からの祝辞、恩師からのメッセージや新成人者の名簿などを掲載した新成人お祝いメッセージ集の冊子を作成し、15日から19日までは全ての新成人者の住所に配布を終えた。市のホームページへ経緯などを掲載したが、他市でも成人式が中止となっていることもあり、苦情、問い合わせなど今のところあっていない。

柴田教育総務課長： 学校施設の一般開放についても、緊急事態宣言終了の2月7日までの期間、20時までの使用時間の制限を設けている。

堀口学校給食課長： 本来ですと、来週から全国給食週間という事で、委員の皆様方にふれあい給食として

学校で子どもたちと給食を食べてもらう取組みについては、今回は中止とした。ただ、文化交流館にて、給食にちなんだ絵画・書道等の展示を28日(木)から1週間程度実施するので、お立ち寄り頂きたい。

石井教育長： 最後に、教職員の異動関係の進捗状況について、現在は2次面接を行っており、残すは3次面接が2月に行われる。今後、教育委員会臨時会開催時にはご協力願いたい。

(7) 閉会

石井教育長： それでは、以上をもって本日の会議を閉じる。大変お疲れさまでした。